

昨年12月8日、県道 八女香春線「合瀬耳納トンネル」開通
～うきは市と八女市がトンネル(2,616m)で結ばれ、所要時間は13分間短縮～



▲ 開通を待ち構えていた車の往来(12月8日午後3時過ぎ、浮羽町妹川地区のうきは口)

昨年12月8日、八女市星野村とうきは市浮羽町妹川地区を結ぶ「合瀬耳納トンネル」(2,616m)が開通しました。従来の峠越えルートは狭い上に急勾配や急カーブが続き、冬場は積雪や凍結で通行止めになるなど交通に支障をきたしてきました。トンネル建設は、旧星野村と旧浮羽町の住民が中心となり平成8年に事業促進期成会を結成、地域の気運の高まりを受け、県が平成26年7月に着工し、整備を進めてきました。

主要地方道八女香春線は、筑後地域と筑豊地域の相互交流に重要な役割を果たし、緊急輸送道路にも指定されている幹線道路です。トンネルを含むバイパス約4.6kmの整備により、所要時間は従来の約20分間から約7分間となり約13分間短縮されました。安全で円滑な交通の確保、防災機能の強化をはじめ、広域観光の推進など地域経済への波及効果に大きな期待が寄せられています。

「フルーティーランド構想」の推進～八女とうきはの魅力をつなぐ～

これまでも両市は、トンネル開通後の広域観光推進などの充実を図るため、両市の特産品である「フルーツ」と「お茶(ティー)」などを活かした広域連携による地域振興を推進する「フルーティーランド構想」のもと、広域観光推進協議会を設立の上、平成12年9月には第6回全国棚田サミットを共同開催するなど取組を進めてきました。トンネル開通により、地域資源をつなげた「フルーティーランド構想」を一層推進していきます。



トンネルうきは口を抜けると、約1分で調音の滝公園に到着



トンネル星野口(写真左)を抜けると、約1分で日本棚田百選広内・上原地区の棚田(右)に到着

